



若穂地区住民自治協議会

若穂まちづくり計画

住んでみたい、住んで良かった、
品格のあるまち若穂

長野市若穂



平成30年2月

若穂まちづくり策定委員会

ごあいさつ	1
若穂地区住民自治協議会 会長 綿内剛美	
若穂まちづくり策定委員会 委員長 長田 健	
I 計画策定の背景と趣旨	2
II 計画策定の体制及び実施期間	2
III まちづくり計画の基本目標	2
IV 若穂地区の概要	4
V 「若穂まちづくりアンケート」にみる若穂の住民意識	7
VI 実行計画	8
1 地域振興	
(1) 若穂地区全体推進事業	8
(2) 地区別事業	9
①綿内地区地域振興	
②川田地区地域振興	
③保科地区地域振興	
2 福祉教育文化	
(1) 若穂地区全体推進事業	10
(2) 地区別事業	10
①綿内地区福祉教育文化	
②川田地区福祉教育文化	
③保科地区福祉教育文化	
3 道路交通	
(1) 若穂地区全体推進事業	11
(2) 地区別事業	12
①綿内地区道路交通	
②川田地区道路交通	
③保科地区道路交通	
4 若穂地区第2次地域福祉活動計画の概要	13
若穂まちづくり実行委員会 組織	14
若穂まちづくり策定委員会名簿	16
検討経過	
若穂まちづくり計画～若穂の未来の姿～	

表紙写真：若穂のリンゴ、綿内レンコンの花、大成谷サルスベリのお地藏様、清水寺の紅葉、赤野田ツツジ、ながの とびっくラン in わかほ

ごあいさつ

若穂地区は、自然が豊かで土地も肥沃、近年大きな災害に見舞われることも殆どなく住みやすい地域と言えますが、若者を中心とした都市部への人口流出に伴う少子・高齢化、人口減少、また生活店舗の不足や遊休荒廃農地の増加傾向が続いています。

若穂地区住民自治協議会では、これらの課題解決のため様々な活動を進めてきたが、対処療法的な事業になりがちで期待したような効果が得られておりません。

そこで平成26年度、おおよそ10年先に目指す若穂の姿を設定した体系的な「若穂まちづくり計画」を、地域をあげて策定することを決定しました。計画づくりを進めるにあたっては、まず綿内・川田・保科の三地区にそれぞれ「地区未来会議」を設置し、①地域振興、②福祉教育文化、③道路交通について地域住民の意見を上げまとめいただきました。そしてそれを全体の場合である「若穂まちづくり策定委員会」に持ち寄り検討を重ね積み上げてまいりました。

「子どもたちに若穂への愛着を深めてもらうためには…」、「若者に若穂に住み続けてもらうためには…」、「若穂への移住者・来訪者を増やしていくためには…」。これら住民の若穂に対する深い思いが込められた計画ですが、市・県・国等の支援・援助が無ければ到底実現できないものが多々あります。しかしながら、お金をかけずに私たちの「決意と行動力」だけで実現できる計画もあり住民の共通意識の高まりが期待されます。今後、計画の実行機関を発足させ、自助・共助を十分機能させるとともに、公助の力もいただきながら実現への努力を図っていただけることを願います。

最後に本計画策定に携わっていただいた全ての方のご努力に感謝申し上げますと共に、何年か先、目標である「住んでみたい、住んで良かった、品格のあるまち若穂」実現の溢れる達成感が、住民一人ひとりの心に満ち満ちることを祈念いたします。

若穂地区住民自治協議会

会長 綿内 剛 美

ごあいさつ

人口の減少、少子高齢化等の問題は、若穂地区においても大変重要な問題であります。

山積する課題を解決するため、それぞれの地区の各部会の皆様のご尽力を頂き、「若穂まちづくり策定委員会」において9回にわたる会議を重ね、実行計画を若穂全体で推進する事業と各地区で推進する事業に分け策定いたしました。

計画は実行を伴って初めて効果があります。行政に要請する他、住民自身が汗を流し、計画を実現していかなければなりません。子どもや孫たちに若穂に再び戻って住んでみたいと思ってもらえる、そんな若穂にみんなの力で築いて行くことを願い、関係した皆様に感謝と御礼を申し上げます。

若穂まちづくり策定委員会

委員長 長 田 健

I 計画策定の背景と趣旨

1 背景

若穂地区住民自治協議会が平成20年に発足して9年目になります。住民自治協議会は、行政と住民をつなぐ総合窓口で、多くの団体・グループ・人をつなぐ役割を担い、まちづくりを進める場であり、また、併せて郷土の歴史文化伝統を継承する役割も担っています。

しかしながら、少子高齢化・人口減少・遊休荒廃農地の増加など多くの課題の中で、私たちの住む郷土の活力が低下してきています。

山積している課題を解決し、活力の低下を最小限にとどめ、地域の賑わいを再び取り戻すため、「住んでみたい、住んで良かった、品格のあるまち若穂」と言われるまちづくりを行う上で、指針となる独自の計画が必要であります。

2 趣旨

まちづくり計画は、国縣市などの行政に頼るところが数多くありますが、行政に頼ることなく住民自身が率先して汗を流し、心をつなげて実行していくことを前提としたものであります。

計画は若穂地区住民全員が希望を持って、自分たちの手で作り上げ実現を目指す構想でもあります。

II 計画策定の体制及び実施期間

1 若穂まちづくり策定委員会

(地域振興部会、福祉教育文化部会、道路交通部会)

- 綿内未来会議(地域振興部会、福祉教育文化部会、道路交通部会)
- 川田未来会議(地域振興部会、福祉教育文化部会、道路交通部会)
- 保科未来会議(地域振興部会、福祉教育文化部会、道路交通部会)

2 計画実施期間 平成29年からおよそ10年間

III まちづくり計画の基本目標

1 まちづくりの目標(目指す若穂の姿)

「住んでみたい、住んで良かった、品格のあるまち若穂」

(1) 目標達成のための指針

①「若穂はひとつ」の意識を持つ。

地域全体がひとつとなって共通課題に取り組む、「若穂の発展に寄与する」という発想を持って行動しよう。

②読んでみよう、参加してみよう。

若穂の過去・現在・未来をより知るために、発信情報に目を通し、実施事業への参加を常に心掛けよう。

③「品格のあるまち若穂」を創ろう。

品性のある言動を保ち、品格の感じられるまちにしていこう。

○明るい挨拶、きさくな声掛け(笑顔あふれる安心なまち)

○自分のゴミは自分で始末(清潔で美しいまち)

○交通ルール・マナーの遵守(交通事故の無い安全なまち)

○公共的な場所での喫煙厳禁(健康寿命の長い活動的なまち)



大成谷 サルスベリの丘

2 目指す具体的な姿

(1) 地域振興

- ①自然災害に強い、安心・安全なまち
- ②四季折々の自然の中で、活気あふれる住みよいまち

災害のない安心・安全なまちは、地域の活性化を図るためには最も重要な課題です。

若穂地区は自然が豊かな地域に、りんご、もも、ぶどうをはじめとする農産物の栽培が盛んで、四季の恵みの豊かな場所です。地域の財産を活用して、活気あふれる住みよいまちを創ることが求められています。

(2) 福祉教育文化

- ①子どもと高齢者がいきいきと遊び学べるスポーツと歴史文化のまち
- ②住民がみんなで創るいきいき福祉のまち

若穂地区は、一世帯を構成する人数が長野市で多い地域です。祖父母と共に比較的大家族で生活しており、お年寄りの知恵が子どもを育む大きな力となっています。また子どもたちの野球、バレーボール、ソフトボール、卓球、バトミントン、サッカー、柔道、剣道など子どもたちのスポーツ活動が盛んで青少年の健全育成のための施設と人材がそろっています。

さらには歴史的文化的財産も残されており、蓮台寺、清水寺、川田宿などを生かしたまちづくりが求められています。

(3) 道路交通

- ①通勤通学に利用しやすい公共交通のまち
- ②生活しやすい道路網の整備されたまち

若穂地区は通勤・通学をはじめ経済・文化面においても長野市や須坂市の中心部と密接につながっており、その交通手段がきわめて重要な要素となっています。幹線道路の整備をはじめとして生活道路（居住地区内で幅員5m以上）の整備は、喫緊の課題です。中でも通過交通が多い国道403号や、落合橋の通勤時間帯における渋滞は深刻で、若穂から若い世代が流出する一因ともなっています。

また通学、通院、買い物の交通手段となっているバス路線は、若穂地区として末永く維持存続させることが求められています。



綿内 御祭礼（天王降し）▲▶



IV 若穂地区の概要

1 若穂の沿革

明治 22 年 4 月 1 日の市町村制施行により、上高井郡綿内村、上高井郡保科村が成立し、上高井郡川田村が上水内郡牛島村を編入し成立しました。

昭和 34 年 4 月 1 日、綿内村、川田村、保科村が合併して若穂町が誕生した、町名は 3 村の頭文字をとって、「わ・か・ほ」とし、躍動する若さと稲穂をイメージして「若穂」の漢字が当てられました。

昭和 41 年 10 月 16 日、2 市 3 町 3 カ村の合併で長野市若穂が誕生しました。

2 地理的環境等

長野市の南東千曲川と犀川の合流地点の右岸に位置し、北西は千曲川を隔て大豆島地区と対岸し、北東部は須坂市、南西部は松代地区及び更北地区、東南部に上信越国立公園の菅平高原に接しています。北西には戸隠・飯綱等の北信五岳や日本アルプスの連峰を望むことができる地にあります。

東 経	北 緯	海 抜	東 西	南 北	周 囲	面 積
138度15分	36度36分	345m	6.8km	11.2km	34.8km	56.29km ²

(長野市若穂支所位置)

3 自然環境

地形及び地質は複雑多岐で面積は広大ながら、南西から南及び東にかけては殆ど山地であり、集落は千曲川東岸の谷街道沿いや保科川・赤野田川沿いに集まっています。

耕地は、海拔 340m から 700m にわたって分布し、平坦部に集落・果樹園・畑地が多く、湿地部には水田。扇状地の中央部では、リンゴ・ブドウ・モモなどの果樹園に利用されています。

また、上信越自動車道が縦貫し、これと並行して国道 403 号が走り、県道長野菅平線が中央部を横断しています。

4 人口及び世帯数の推移

若穂地区の人口は、昭和 60 年までは上昇傾向にありましたが、平成 2 年以降、横ばい傾向となっています。

世帯数においては、平成 2 年以降、あまり人口の増減がないにもかかわらず上昇傾向にあり、平成 27 年は 3,950 世帯となって、平成 2 年と比較しても、789 世帯 25.0%の増加となっています。また、1 世帯当たり世帯員数の減少傾向が続いています。

年齢構成で見ると、平成 27 年の 65 歳以上人口は 3,783 人で、昭和 40 年に比べて構成比率が 8.7%から 31.0%と 3.56 倍で、4 人に 1 人を超える割合（高齢化率）となり、長野市全体の 28.1%を上回っています。

一方、0 歳～14 歳の年少人口は平成 27 年 1,657 人で、昭和 40 年の構成比率 25.1%が 13.6%と著しく減少しています。若穂地区でも少子高齢化が一段と進んでいることがうかがえます。

生産年齢人口は昭和 40 年の 66.2%から平成 27 年の 55.0%と減少傾向にあります。

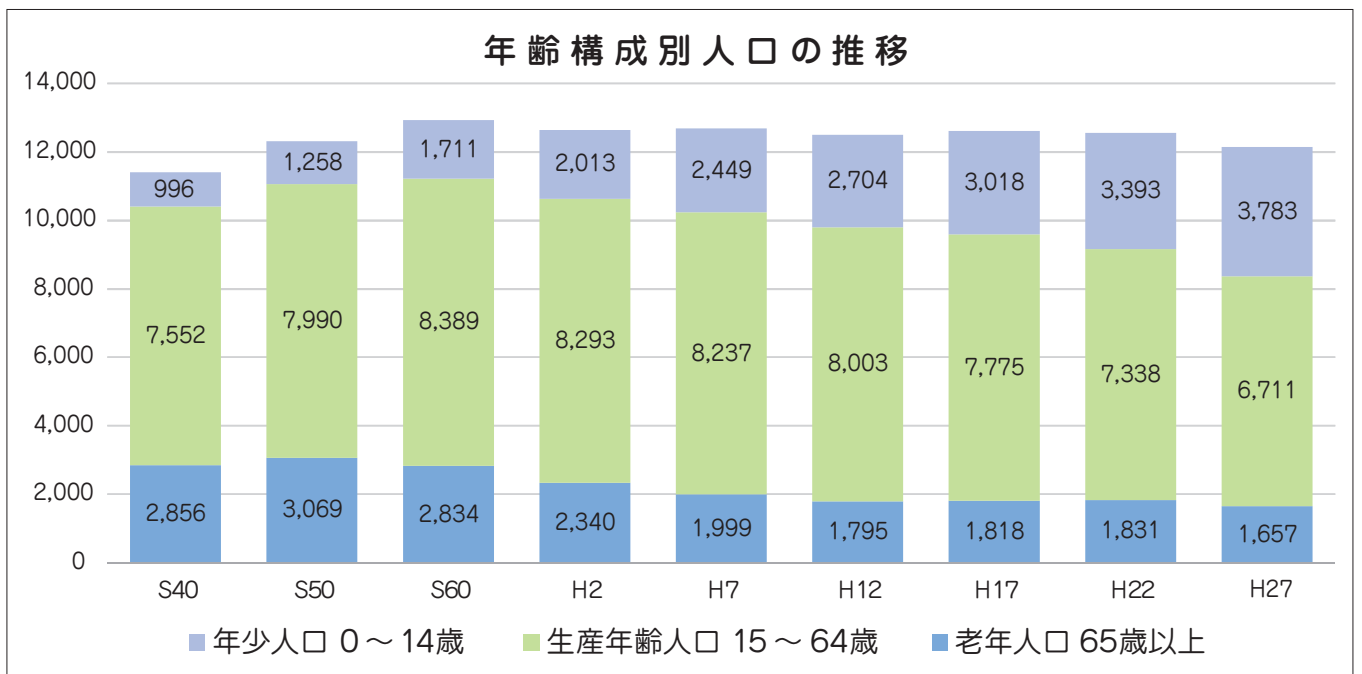
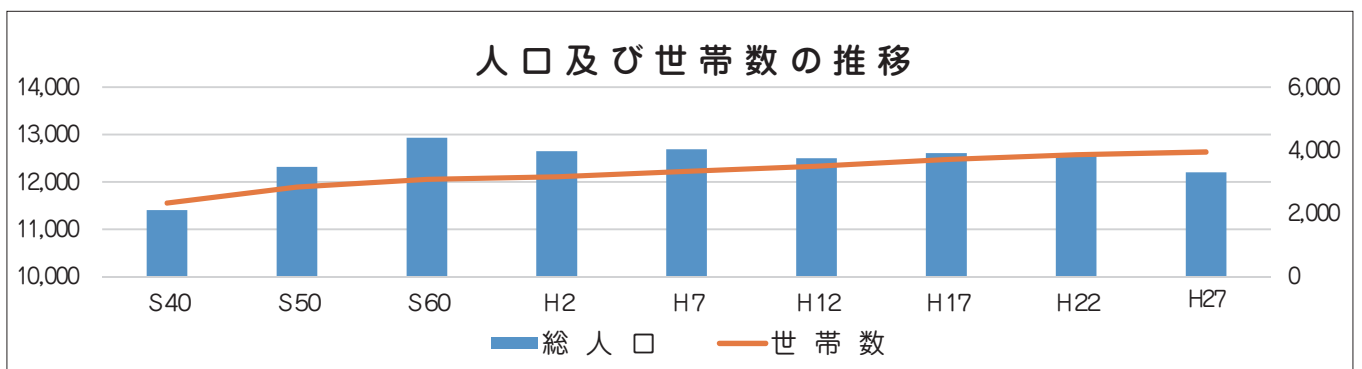


清水寺 ぼたん

(単位：人 割合 %)

		S40	S50	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27
総人口		11,404	12,317	12,934	12,646	12,687	12,503	12,611	12,570	12,201
世帯数		2,330	2,840	3,077	3,161	3,335	3,494	3,712	3,865	3,950
1世帯当たり世帯員数		4.9	4.3	4.2	4.0	3.8	3.6	3.4	3.3	3.1
年少人口	0～14歳	2,856	3,069	2,834	2,340	1,999	1,795	1,818	1,831	1,657
	割合	25.1	24.9	21.9	18.5	15.8	14.4	14.4	14.6	13.6
生産年齢人口	15～64歳	7,552	7,990	8,389	8,293	8,237	8,003	7,775	7,338	6,711
	割合	66.2	64.9	64.9	65.6	64.9	64.0	61.7	58.4	55.0
老年人口	65歳以上	996	1,258	1,711	2,013	2,449	2,704	3,018	3,393	3,783
	割合	8.7	10.2	13.2	15.9	19.3	21.6	23.9	27.0	31.0
長野市全体の65歳以上の割合		6.7	8.5	11.2	13.3	15.8	18.5	21.6	24.9	28.1

注 国勢調査による

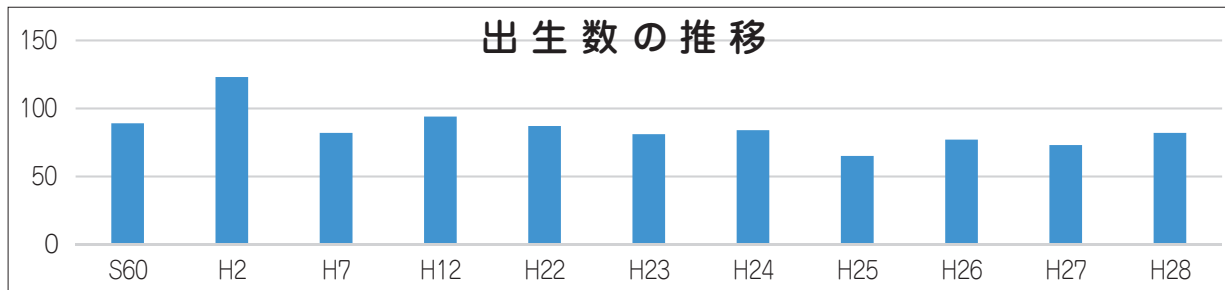


5 出生数の推移

平成2年をピークに減少から横ばい傾向となっています。

住民基本台帳人口 (単位：人)

年次	S60	H2	H7	H12	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
人数	89	123	82	94	87	81	84	65	77	73	82

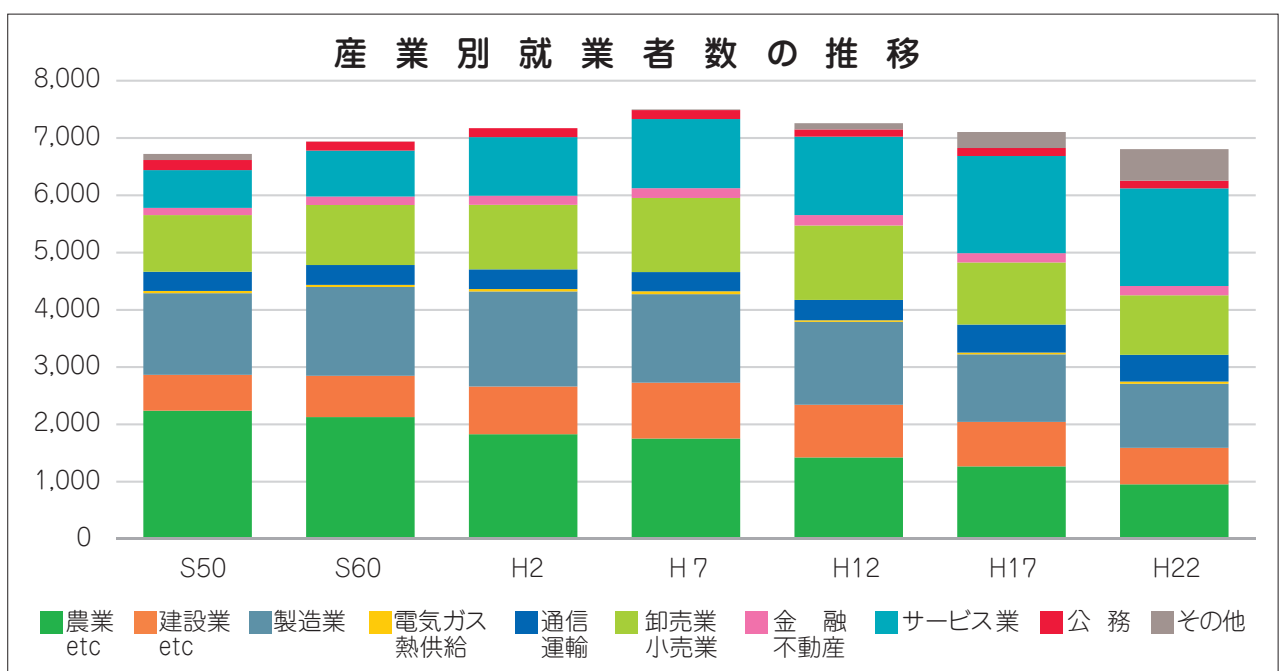


6 産業別就業者数の推移

昭和50年の農業2,238人、製造業1,425人が平成22年には、それぞれ952人、1,120人となり、農業57.5%、製造業21.4%も減少しています。逆にサービス業は昭和50年の659人が、平成22年には、1,705人と158.7%の著しい増加となっています。

(単位：人)

	農業 etc	建設業 etc	製造業	電気ガス 熱供給	通信 運輸	卸売業 小売業	金融 不動産	サービス業	公務	その他	合計
S50	2,238	627	1,425	40	334	988	128	659	176	106	6,721
S60	2,128	719	1,551	38	344	1,048	149	801	159	1	6,938
H2	1,828	833	1,658	44	342	1,128	159	1,022	156	0	7,170
H7	1,752	976	1,544	52	333	1,295	171	1,207	156	10	7,496
H12	1,422	920	1,446	28	357	1,299	182	1,367	126	109	7,256
H17	1,267	775	1,179	32	490	1,082	163	1,696	141	279	7,104
H22	952	637	1,120	38	466	1,039	163	1,705	134	550	6,804



V 「若穂まちづくりアンケート」にみる若穂の住民意識

アンケートは住民自治協議会などが、若穂の全世帯と事業所を対象に平成21年に実施しました。

回答数3,371件で、回答者の内訳は男性52%、女性43%で、年代別では、60才～80才未満(43%)、40才～60才未満(37%)、20才～40歳未満(11%)となっている。

家族構成は、親と子が44%、夫婦22%、三世帯20%、その他16%であり、若穂の居住期間「10年未満」の人が13%に及んでいることで、「先祖代々」型の住民構造に変化がみられます。

なお、関連ある一部の項目を掲載しましたが、8年の時間差があります。

1 「若穂のよいところ、誇りにしたい、大事にしたいと思うことがありますか？」(複数回答可)

- ① 自然が豊かである 22%
- ② 果樹、米、野菜など多くの農産物が栽培されている 19%
- ③ 事件・事故や災害も少なく、安心して暮らすことができる 12%
- ④ 医療施設や高齢者、障害者施設など健康福祉施設が近くにある 9%
- ⑤ 区や、各種団体役員が責任を持ってそれぞれの任務や課題に取り組んでいる 7%

上位5項目

2 「子どもを安心して育てる上で、若穂の環境は適していると思いますか？」

- ・とても適している 17%
- ・まあまあ適している 70%
- ・適していない 5%

3 「高齢者や障害者、その家族が生活する上で若穂は住みやすい環境にあると思いますか？」

- ・とても住みやすい 5%
- ・まあまあ住みやすい 63%
- ・住みにくい 25%

4 「若穂のまちの将来像について、あなたの考えに最も近いものは？」

- ① 通勤等のための道路や交通機関を整備し、ペットタウン化を図る 28%
- ② 農業を主産業とした地域振興を図る 22%
- ③ 高速道インターチェンジが近くにある地域特性を生かして、工業立地を図る 15%

上位3項目

5 「若穂町誕生から50周年を迎えました。この間着々と整備は進んできましたが、まだまだ不足と思うものがあれば5つ以内で選んでください」

- ① スーパーマーケット、ホームセンター等
- ② 幹線道路・生活道路の整備
- ③ スマートインターチェンジ等

上位3項目

VI 実行計画

1 地域振興

(1) 若穂全体推進事業

各地区まちづくり計画実行委員会は、綿内計画実行委員会、川田まちづくり実行委員会、保科まちづくり実行委員会を言う

	事業名	事業概要	主な担当者	主な協力者	実施年度
1	綿内・川田駅の敷地・駅舎・電車（川田駅）等有効活用	(1)より良い活用方法を長野市に提案し早期実現を目指す。	自治協 まちづくり部会	区長会 各地区まちづくり計画実行委員会	H29～
2	若穂道の駅誘致	(1)国県市及びJAに陳情 (2)地場産品及びジビエ食品の提供 (3)防災拠点・災害時避難場所の機能併設 (4)スマートインターに併せて建設	若穂スマートインターチェンジ建設期成同盟会	自治協 区長会 各地区まちづくり計画実行委員会 川田土地改良区	H28～
3	有害鳥獣対策事業とジビエ振興	(1)有害鳥獣対策の推進（電気柵防護柵設置等・狩猟免許取得支援） (2)ジビエの振興（ジビエ料理の開発・普及）	自治協 まちづくり部会 有害鳥獣対策協議会	区長会 地域発きらめき事業 若穂地区実行委員会 JAグリーン長野	H26～
4	公共路線バス等の維持・利用拡大	(1)3路線および乗合タクシーの維持と利用拡大 (2)利便性の高い公共交通の提言（パークアンドライド駐車場の整備）	自治協	区長会	H28～
5	人口減少対策	(1)空き家バンク推進事業 (2)婚活支援と結婚相談所開設	自治協 区長会 まちづくり部会	福祉保健部会 更北地区住民自治協議会	H29～
6	遊休・荒廃農地の利用	(1)地域おこし協力隊員や農業委員との連携による農地の利用と農産物のブランド化	自治協 区長会 まちづくり部会	農業委員会 土地改良区 JAグリーン長野	H29～
7	千曲川堤防改修	(1)完成堤防化 (2)浸透対策	千曲川堤防改修促進期成同盟会	自治協 区長会 各地区まちづくり計画実行委員会	H28～



町川田神社 御柱祭▲▼



(2) 各地区推進事業

① 綿内地区地域振興

	事業名	事業概要	主な担当者	実施年度
1	農業の振興	(1)遊休・荒廃農地の対策と各組織の設立を検討 (2)農業後継者対策の検討 (3)遊休・荒廃農地の活用方法の検討 (4)綿内の特産品の振興方法の検討 (5)地産農産物・商品の販売場所の拡大 (6)六次産業化の促進 (7)専門部会設置	綿内計画実行委員会 地区内関係者 市農業委員会 JA グリーン長野 市農業公社 東町農業基盤整備事業会	H29～
2	活動拠点の構築	(1)各種活動の中心となる拠点を構築 (2)旧綿内駅舎の使用目的明確化 (3)綿内総合センター	綿内計画実行委員会 自治協	H29～ 3と関連
3	旧綿内駅跡地利用	(1)市への要望に対する早期実現の活動 (2)市民の憩いの広場の早期実現	綿内計画実行委員会 自治協	H27～ 跡地利用計画は市に提出済
4	自然観光地区の拡大	(1)綿内特産品の販売拠点を構築 (2)綿内特有の自然環境を活用し、観光地化を図る (3)レンゲ栽培等の推進及び名所化を図る レンゲ栽培マニュアルの作成 (4)天王山参道（遊歩道）に桜を植栽し名所化を図る (5)綿内のシンボルである棉花栽培の拡大を図る 旧綿内駅跡地及び各家庭 棉花栽培マニュアルの作成	区長会 綿内計画実行委員会 小・中 PTA 育成会 綿内商工会	H29～ 2及び3と関連 H27～ H28～ H27～

② 川田地区地域振興

	事業名	事業概要	主な担当者	実施年度
1	旧川田駅周辺整備事業	(1)駅周辺は、多目的広場、パークアンドライド駐車場等で利用 (2)電車は、図書館、遊戯室等で利用 (3)駅舎は、バス待合所、資料館事務所等で利用	川田まちづくり実行委員会	H29～ H29～利用計画策定
2	人口減少対策	(1)空き家バンク推進事業 空家等宅地・中古住宅の購入促進 (2)Uターン、Iターン事業の推進 二男三男（女）に地区内での住宅建設の推奨 (3)川田帰って来いキャラクターの製作（かえる君）	自治協 区長会 川田まちづくり実行委員会	H29～
3	安心して住むことができるまちづくり	(1)千曲川右岸堤防の完成堤防化及び桜つつみ公園の整備 (2)保科川・赤野田川維持管理の充実	区長会 千曲川堤防改修促進期成同盟会 自治協	H28～

③ 保科地区地域振興

	事業名	事業概要	主な担当者	実施年度
1	保科地区のアピール・宣伝	(1)保科地区のガイドマップを作製する	保科まちづくり実行委員会	H28～実施
2	野生鳥獣被害に対する対策	(1)柵を設ける	保科地区区長会	H28～検討

2 福祉教育文化

(1) 若穂全体推進事業

	事業名	事業概要	主な担当者	主な協力者	実施年度
1	旧町村歌による地域おこし	(1)地区に残る歌を掘り起しCD化して地域祭り等に活用・保存・伝承する (若穂音頭、綿内音頭、綿内小唄、保科甚句、保科の夕暮れ、川田青年会の唄等)	自治協 まちづくり部会 地域公民館部会	区長会	H29～
2	伝統食や伝統行事の伝承・普及	(1)食文化の大会開催 (2)伝統行事の集いの開催	自治協 まちづくり部会 食生活改善推進協議会	地域公民館部会 福祉保健部会	H29～
3	歴史・文化財等の保存・充実	(1)小学校余裕教室を利用して整備展示する (2)歴史ガイドの育成・組織作り (3)史跡マップ作製 (4)ホタルマップの作製	自治協 まちづくり部会	各地区まちづくり計画実行委員会 PTA 若穂郷土史研究会	H29～
4	子育てのしやすいまちづくり事業	(1)子育て支援の充実 (2)小学校や児童館との連携事業	自治協 子育て青少年部会 若穂コミュニティスクール運営委員会	児童館 育成会 PTA	H29～
5	ウォーキングコース等設定（整備）	(1)オリンピック記念桜並木コースを保科温泉まで延伸 (2)太郎山・天王山トレッキングコース、古城山遊歩道、奇妙山トレッキングコースの整備 (3)名所旧跡巡りコースマップと共にモデルコースを作る	自治協 まちづくり部会	地区区長会 各地区まちづくり計画実行委員会 太郎山トレッキングコース愛護会	H29～

(2) 各地区推進事業

① 綿内地区福祉教育文化

	事業名	事業概要	主な担当者	実施年度
1	伝統行事・伝統食の普及	(1)旧綿内駅舎、総合センターを活用して綿内に伝える行事や食を伝える	綿内計画実行委員会 食生活改善推進協議会 育成会	H29～
2	歴史・文化・芸術の推進・保管	(1)郷土博物館（綿内小）の開設 (2)遺跡巡りウォーキングマップの作成 (3)太郎山（城の峰）トレッキングコースの歴史的検証を進める	綿内計画実行委員会 PTA 区長会	H30～ H29～ H29～
3	高齢者や子育て世代と児童が交流できる場所の確保	(1)小学校の余裕教室や児童センター・子どもプラザを活用し、世代間やミニ交流の場とする	綿内計画実行委員会 PTA 自治協	H30～
4	棉花の加工	(1)収穫した棉でコースター等の製品作りを通じて、綿内全体への棉花栽培を推進する	綿内計画実行委員会 育成会 児童館	H27～
5	町村歌による地域おこし	(1)CD化（綿内音頭・綿内小唄）等により地域おこしを図る	綿内計画実行委員会 公民館 自治協	H30～

②川田地区福祉教育文化

	事業名	事業概要	主な担当者	実施年度
1	健康増進ウォーキングコースの設定	(1)古城山遊歩道の整備と展望の確保	区長会 川田まちづくり実行委員会	H28～
2	子育てがしやすいまちづくり	(1)児童館と地域住民が連携して子育て支援に結び付ける (2)スポーツをととして子育て教育の充実	川田まちづくり実行委員会	H28～
3	歴史・文化財等の保存と充実	(1)川田宿見学時の駐車場の整備他	区長会 川田まちづくり実行委員会	H28～
4	川田夏祭りの継続	(1)地域の活性化と子どもたちの思い出づくり	川田夏祭り実行員会 川田まちづくり実行委員会 区長会	H28～

③保科地区福祉教育文化

	事業名	事業概要	主な担当者	実施年度
1	盆踊り支援	(1)保科地区で昔から実施している、盆踊りについて、より地域内の交流を深めるために、主催者の元方と協議を行い、盆踊りの支援を行う	保科まちづくり実行委員会	H28～ H28年の盆踊りから実施
2	ウォーキングコース延伸	(1)川田地区の保科川右岸に整備されているウォーキングコースを、保科温泉まで延伸する (2)ウォーキングコースを延伸して、地域住民や利用者の健康維持・増進を図る	保科まちづくり実行委員会 自治協	H27.10～ (コース検討中)
3	意見調査	(1)現在の保科について意見調査を行い、良い所、改善点、未来への希望等について作文を書いてもらう	保科まちづくり実行委員会	H28～ H28夏休みに実施

3 道路交通

(1) 若穂全体推進事業

	事業名	事業概要	主な担当者	主な協力者	実施年度
1	国道 403 号改良	(1)綿内地区内改良 (2)関崎橋東詰交差点改良	国道 403 号線改良促進期成同盟会（綿内） 国道 403 号線道路拡幅改良期成同盟会（町川田）	自治協 区長会 まちづくり部会	H29～
2	若穂スマートインター建設	(1)直轄調査対象として採択のため国へ陳情 (2)地権者に理解をいただく努力 (3)国県市等への陳情	若穂スマートインターチェンジ建設期成同盟会	自治協 区長会 まちづくり部会 川田土地改良区	H28～
3	主要地方道長野菅平線整備促進	(1)山間部の通年通行の実現 (2)歩行者の安全対策 (3)県市、警察への陳情	長野菅平線保科菅平間道路改良促進委員会 保科区長会 川田区長会	自治協 区長会 まちづくり部会 安協若穂支部	H29～
4	落合橋 4 車線化 主要地方道長野菅平線 落合橋南詰交差点改良	(1)県市等への陳情 (2)地権者との折衝補助	落合橋架替建設期成同盟会 牛島区落合橋南詰交差点改良建設促進委員会	自治協 区長会 まちづくり部会	H29～
5	千曲川新道建設促進 (旧屋代線跡地)	(1)建設促進 (2)利用法提案	自治協 区長会	まちづくり部会	H27～
6	千曲川堤防道路の建設	(1)屋島橋～関崎橋間の堤防道路は、完成堤防化と同時に全幅員 7m で整備し、市道として認定を行う（県道部分を除く） (2)若穂地区千曲川堤防改修促進期成同盟会総会開催時に、堤防道路整備についても要望活動を行う	千曲川堤防改修促進期成同盟会	自治協 区長会 まちづくり部会	H29～ H28.8 市長へ堤防道路整備の要望書提出

(2) 各地区推進事業

① 綿内地区道路交通

	事業名	事業概要	主な担当者	実施年度
1	国道 403 号線改良工事	(1)綿内通りの危険度解消のための安全対策、渋滞等の解消を図る (2)古屋交差点から旧綿内駅入口交差点までの道路狭隘区間(約 900m)の道路改良工事を推進する (3)古屋交差点から 200m 区間を第一工区として道路改良工事を進める (4)国、県及び市に対して、地域内の関係団体と連携し、道路改良促進を図るため要望活動を行う (5)毎年 1 回総会を開催し、改良事業の進捗状況報告、及び住民要望の伝達等を行う	国道 403 号線改良促進期成同盟会(綿内)	H26 ~ 基本測量、地元説明会 H28 ~ 地権者説明会、用地交渉 H28.9.30 期成同盟会設立総会開催
2	綿内バイパス建設	(1)国、県及び市に対して、地域内の関係団体と連携し、綿内バイパス建設計画の再開に向けて要望活動を行う (2)綿内内に、須坂インター線に接続するもう 1 本幹線道路の建設実現に向けて要望活動を行う (3)毎年、国道 403 号線改良促進期成同盟会総会開催時に、綿内バイパス早期着工に向けて要望活動を行う (4)第 1 期工事として、綿内中央団地内(約 400m)が完成している (5)平成 12 年度から測量等着工に向けて準備が整っていて、休止状態となっている (6)旧屋代線が廃線となり、バイパス計画の 2 箇所の跨道(線)橋が不要となっている	綿内バイパス建設準備検討委員会	国道 403 号線改良めど後 H28.9.30 準備検討委員会設立総会開催

② 川田地区道路交通

	事業名	事業概要	主な担当者	実施年度
1	旧川田駅周辺整備事業(電車・駅舎を含む)	(1)駅周辺は、多目的広場、パークアンドライド駐車場等で利用 (2)電車は、図書館、遊戯室等で利用 (3)駅舎は、バス待合所、資料館事務所等で利用	自治協 区長会 川田まちづくり実行委員会	H28 ~ 計画策定 H29 年度
2	市道大門町川田線の拡幅整備	(1)川田小学校(赤野田川橋)から町川田(川田宿入口)まで歩道の設置	区長会 川田まちづくり実行委員会	H28 ~
3	長野菅平線(大門塚本領家)間の整備促進	(1)事故多発のため歩行者の安全対策 (2)スマートインター・道の駅関連の改良	主要地方道長野菅平線改良促進協議会 自治協	H28 ~

③ 保科地区道路交通

	事業名	事業概要	主な担当者	実施年度
1	交通事故多発地点、危険個所の早急な改善、特に主要地方道長野菅平線の対策を考える	(1)保科地区にある全ての横断歩道手前及び通学路のカラー舗装化及び路側帯の整備を行政・道路管理者に要望する	区長会 保科まちづくり実行委員会	H28 ~
2	交通マナーの向上、啓蒙活動	(1)長菅線のスピード抑制については、自治協・安協でも懸案事項になっており、安全対策チラシも用意されているので、定期的・継続的に保科地区全戸に配布することを依頼する	保科まちづくり実行委員会	H28 ~
3	主要地方道長野菅平線保科菅平間の道路改良工事の早期完成	(1)大型車の通年通行を実現する	長野菅平線保科菅平間道路改良促進委員会	H28 ~
4	パークアンドライドの駐車場の整備	(1)保科地区の住民が川田駅からバスを利用するために、川田駅に駐車場を整備する	保科まちづくり実行委員会	H28 ~

4 若穂地区第2次地域福祉活動計画の概要

平成30年度から今後5年間、「若穂地区の福祉施策をどのような方向で推進していったらいいのか」について、現実の状況を踏まえ関係機関や住民の声を拝聴しながら、検討しその方向性と具体的事業が決定しましたので概要をお知らせします。

(1) 策定の前提

- ①長野市の「第三次長野市地域福祉計画」「第三次長野市健康増進計画・食育推進計画」「長野市こども・子育て支援事業計画」を施策の基本として、これに若穂版としての具体的事業を載せ、隙間を埋め補完しながら策定しました。
- ②若穂地区第一次福祉活動計画（平成29年度完了）に比較し、福祉活動領域の幅を広げました。第一次は高齢者対策に軸足を置いた施策でしたが、今回は高齢者、子育て、健康増進等地域福祉全域にわたって計画づくりをしました。

(2) 概要

①達成目標

ふれ愛・支え愛・活かし愛・住んでよかった私たちの地域

基本目標 その1 ふれ合う（ふれあい・交流）

- 地域での人々のつながりを強化して、地域社会を再生します。
- 互いに助け合えるような近隣関係、ネットワークの形成を行います。
- 方法や対象にこだわりの少ない多様なメニューにより、幅広い生活課題に対応します。

基本目標 その2 支えあい、活かしあおう（学び・共に活かす）

- 対等で「お互いさま」の関係を構築します。
- 身近な地域で、何でも受け止められる体制を作ります。
- 自分でできること、得意なこと地域に貢献する。⇒住民の個性に合わせた多様な取組を行う。
- 公的福祉サービス給付に該当しない「制度の谷間」にある人へ対応行います。

基本目標 その3 気づき、知らせあおう（調査・広報啓発）

- 地域住民の主体的参加を促すための必要な情報を提供します。
- 必要な福祉サービスに適切・迅速にアクセスできる窓口などの仕組みを作ります。
- 福祉に限らない多様な活動へ多くの人々を呼び込み、参加者から新たな生活課題を発見します。
- 自ら問題解決に取り組むことができない人々が地域からの孤立化を防ぐため、民生児童委員会や住民自治協議会、また行政の活動とも連携します。

実現への組織強化策

- これらの基本目標を達成するため、地域福祉の推進役となる人材の育成、財源の確保や連絡体制の整備など、組織強化を図っていきます。

②実行計画

1、ふれ合う

- 高齢者の生きがい活動（長寿者への祝意事業・高齢者組織活動の支援）
- 地域事業支援活動（ながのとびっくラン in わかほ・ふれあい踊り・子育て支援事業・結婚活性化事業等）

2、支えあい・活かしあおう

- 高齢者支援事業（各種サロン事業・オレンジカフェの運営・独居高齢者の安全確保・介護予防クラブの育成・男性の料理クラブ支援・地区内福祉ネットワークの設立等）
- 介護者支援事業（市地域たすけあい事業（福祉自動車の運行・家事支援）・災害見舞活動・相談窓口開設・結婚活性化事業）

3、気づき・知らせあおう

- 住民への啓発活動（福祉イベントの開催・健康増進活動・広報活動・各種講演会の開催・各種懇談会等）

4、組織強化

- 募金活動・ボランティア要員の育成と活動支援・地域福祉ワーカーの体制整備・組織人の研鑽等

若穂まちづくり実行委員会 組織

平成 30 年 1 月

1 推進組織

相談役：前正副委員長

全体統括：自治協区長部会正副会長（3）

委員長：若穂まちづくり実行委員会委員長（まちづくり部会長）（1）

副委員長：同副委員長（まちづくり副部会長）（2）

事務局：若穂支所、若穂自治協事務局、若穂まちづくり実行委員会事務局

2 構成組織：

自治協【事務局長（1）、担当次長（3）】、代表区長会（12）、まちづくり部会（3）、各地区開発委員会副委員長（3）、社会福祉部会（1）、福祉保健部会（1）、子育て青少年部会（1）、地域公民館部会（1）、商工会若穂支部（2）、スマートインター建設期成同盟会（1）、有害鳥獣対策協議会（1）、JA グリーン長野（2）、農業委員会（2）、土地改良区（2）、千曲川堤防改修促進期成同盟会（1）、食生活改善推進協議会（1）、育成会（3）、小・中 PTA（4）、太郎山愛護会（1）、R403 改良期成同盟会（綿内・川田 2）、長菅線改良促進委員会（1）、交通安全協会（1）、落合橋南詰改良促進委員会（牛島 1）、落合橋架替建設期成同盟会（1）、若穂公民館（1）、郷土史研究会（1）、児童館（3）、計 57 名

3 主な担当

(1) 地域振興委員会

担当委員長：まちづくり正副部会長 担当事務局：代表区長（1）

委員：有害鳥獣対策協議会、千曲川堤防改修促進期成同盟会、商工会、農業委員会、土地改良区、JA グリーン長野、福祉保健部会、代表区長 2

(2) 福祉教育文化委員会

担当委員長：まちづくり正副部会長 担当事務局：代表区長（1）

委員：食生活改善推進協議会、社会福祉部会、地公連、小中 PTA、育成会、児童館、太郎山愛護会、郷土史研究会、子育て青少年部会、若穂公民館、代表区長 2

(3) 道路交通委員会

担当委員長：まちづくり正副部会長 担当事務局：代表区長（1）

部員：R403 期成同盟会（綿内・川田）、長菅線促進委員会、商工会、交通安全協会、落合橋南詰改良委、スマートインター期成同盟会（道の駅も含めて）、落合橋架替建設期成同盟会、JA グリーン長野、代表区長 2

4 主な活動

(1) 委員総会等

4 月～5 月 総会、幹事会、担当委員会開催（年間計画、委員会間調整など）

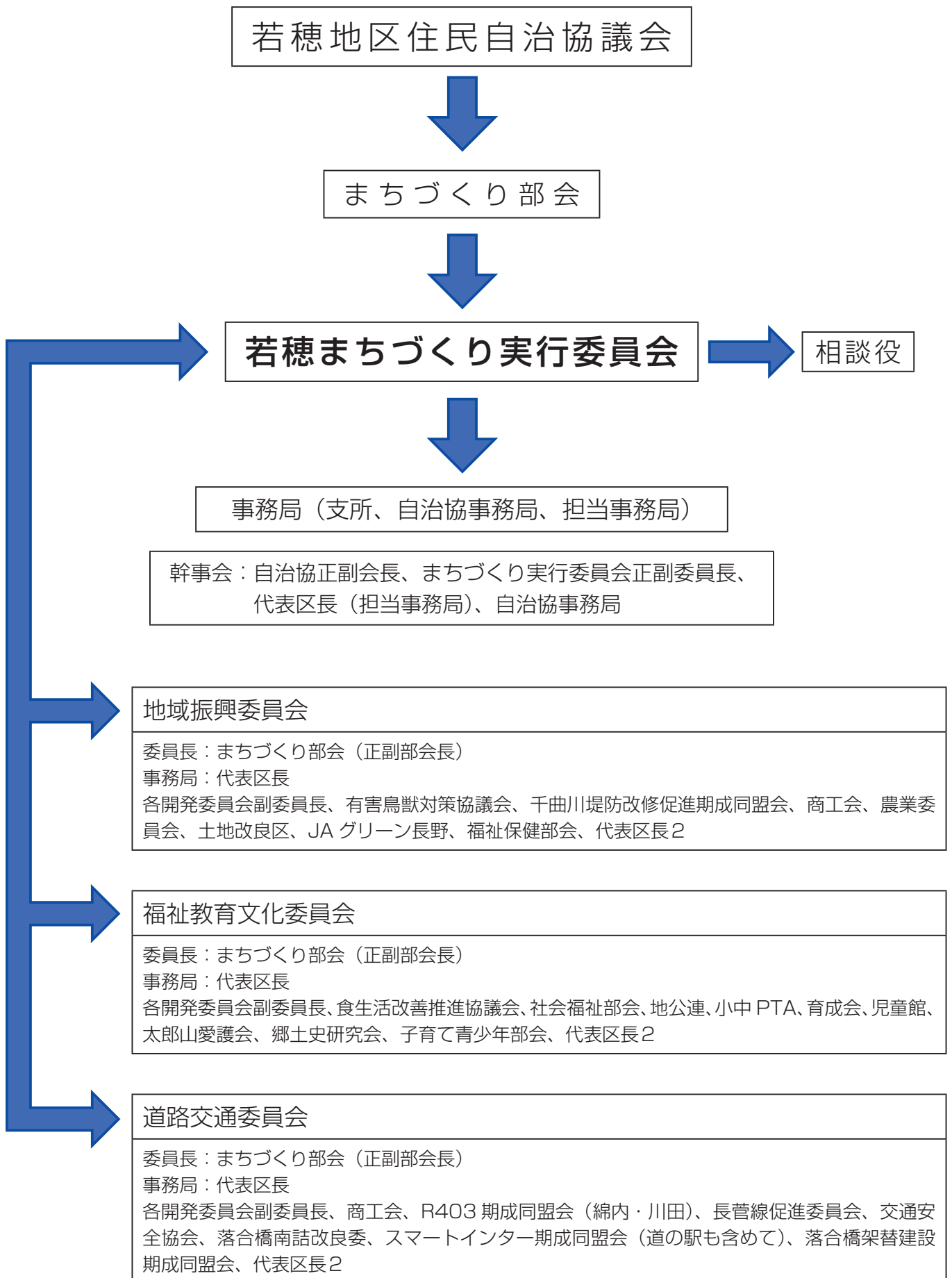
(2) 幹事会は、区長部会正副会長、まちづくり実行委員会正副委員長、代表区長（担当事務局）、自治協事務局で構成し必要に応じて開催する。

各委員会は、担当委員会ごと必要に応じて開催する。

5 予算

自治協予算に毎年算出

まちづくり実行組織図



若穂まちづくり策定委員会 名簿

役職名	氏名
住民自治協議会長	綿内 剛 美
住民自治協議会副会長	中村 謙 一
まちづくり策定委員長	長田 健
まちづくり策定副委員長	玉井 一 則
まちづくり策定事務局長	橋本 淳
住民自治協議会事務局長	刈間 匠 一
地域振興部会長	玉井 一 則
地域振興副部会長	山口 益 夫
地域振興副部会長	安藤 茂
地域振興副部会長	北城 一 秀
地域振興部会	青木 保
福祉教育文化部会長	久保田 明
福祉教育文化副部会長	北島 光 雄
福祉教育文化副部会長	上田 聖 二
福祉教育文化部会	戸井田 一 成
道路交通部会長	長田 健
道路交通副部会長	稲田 堅 朗
道路交通副部会長	坂口 長 治
道路交通部会	大峽 幸 夫
道路交通部会	土屋 袈三男

役職名	氏名
住民自治協議会副会長	高山 茂 和
住民自治協議会副会長	小宮山 泰 典
まちづくり策定副委員長	稲田 堅 朗
まちづくり策定事務局次長	小林 隆 夫
まちづくり策定事務局次長	山 寄 今朝寛
地域振興部会	峯村 定 雄
地域振興部会	小宮山 芳 延
地域振興部会	関屋 洋 介
地域振興部会	北原 益 男
福祉教育文化部会	小宮山 隆
福祉教育文化部会	東條 秀
福祉教育文化部会	西村 昇
福祉教育文化部会	小宮山 泰 典
道路交通部会	川戸 隆 次
道路交通部会	宮澤 修 三
道路交通部会	中島 清
道路交通部会	伊藤 治 好
道路交通部会	中島 裕 二

検討経過

- 第1回委員会 平成27年10月28日：委員会組織構成・協議内容・スケジュール等
- 第2回委員会 平成28年7月20日：推進日程の概要・全体計画のまとめ方・地区未来会議のまとめ方
- 第3回委員会 平成28年10月19日：役割分担・地区未来会議計画の検討（全体事業）
- 第4回委員会 平成29年1月18日：地区未来会議計画の検討・若穂全体事業のまとめの検討
- 第5回委員会 平成29年3月24日：まちづくり計画素案検討
- 住民説明会 平成29年4月26日：住民自治協議会総会において説明
- 第6回委員会 平成29年6月20日：住民説明会を受けての検討（計画に関する提案1件）
- 第7回委員会 平成29年8月24日：概要版の内容検討
- 第8回委員会 平成29年11月28日：絵地図も含めた全体計画書案の最終検討・実行組織の検討
- 第9回委員会 平成29年12月15日：全体計画書案の最終検討・ゲラ刷り校正 発注



高井穂神社 赤熊



山新田 藤棚



赤野田 つつじ公園



清水寺 観音堂

若穂まちづくり計画 ～若穂の未来の姿～



若穂地区住民自治協議会
若穂まちづくり策定委員会

〈地域おこし〉

地域の歌のCD化で活用・保存・伝承
(若穂音頭・綿内音頭・保科甚句・川田青年会の唄 等)

〈若穂地区〉

- ① 国道403号道路改良
 - ① 関崎橋東詰交差点改良
 - ② 綿内地区内改良
- ② ① 千曲川堤防道路整備 (屋島～関崎橋)
 - ② 千曲川完成堤防化・浸透対策
- ③ 婚活支援・結婚相談所開設 (支所内)
- ④ 千曲川新道 (旧屋代線跡地)
- ⑤ ウォーキングコースの設定 (整備)
 - ① 太郎山・天王山トレッキングコース (綿内)
 - ② 古城山遊歩道 (川田)
 - ③ 奇妙山トレッキングコース (保科)
- ⑥ 有害鳥獣対策事業とジビエ料理開発
 - ① 電気柵防護柵設置 (綿内～保科の山際)
 - ② ジビエ料理の開発・普及

〈川田地区〉

- ⑦ 若穂スマートインターチェンジ・道の駅 新設
- ⑧ 落合橋4車線化
- ⑨ 旧川田駅跡地利用 (多目的広場・電車の利用)
- ⑩ 川田宿の見学者の駐車場整備
- ⑪ 桜並木公園の整備

〈保科地区〉

- ⑫ 長野・菅平線の通年通行
- ⑬ ウォーキングコースの延伸
(川田地区の保科川右岸～保科温泉)

〈綿内地区〉

- ⑭ 綿内バイパス建設の促進
- ⑮ 旧綿内駅・駅舎跡地の利用 (多目的会館の建設)
- ⑯ 天王山参道 (遊歩道) の桜の植栽
- ⑰ 郷土博物館 (綿内小内) に開設
- ⑱ 綿内清水・山新田斜地 (農産物のブランド化)
- ⑲ 棉花栽培の拡大